

議会だより

令和8年第1回臨時会

一般会計補正予算（第8号）

商品券1万5千円分を配付



物価高騰対策商品券

令和8年第1回臨時会は、1月20日に開催されました。本臨時会では、専決処分の承認3件と一般会計補正予算1件が提案され、審議の結果すべて全会一致で承認・可決しました。

給食費を実質無料化

物価高騰対応重点支援臨時交付金は、全町民に対し、町内の店舗や事業所等で使用できる商品券（1万5千円×11,000人）を配付するものです。

学校給食費の実質無償化事業は、保護者負担分（1,009万円）の補助と学校給食協議会負担金分（1,500万円）への充てを実施します。

- 【歳入の主なもの】
- 物価高対応子育て応援手当 23362万円
- 物価高騰対策商品券事業 1億6650万円
- 物価高騰に伴う学校給食費支援事業 1009万円
- ふるさと基金繰入金 △1500万円

- 【歳入の主なもの】
- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 1億9899万円
- 物価高対応子育て応援手当支給補助金 2706万円

第147号
令和8年4月23日 (2026)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 白鳥 金次
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページはこちら

議会フェイスブックはこちら

もくじ

第1回臨時会・第2回定例会 関連記事……………

審議議案と議員の賛否……………

一般質問……………

8年度予算審査……………

あの意見どうなった？……………

ここが疑問・第19回議会報告会……………

陳情・発委・議会全員協議会……………

みんなのひろば・投書・編集後記……………

43 42 41 40 38 33 32 30

令和8年第2回定例会

賛成少数、副町長の選任を不同意

4月以降は副町長が不在となる可能性

2月26日から3月23日までの26日間にわたり開催されました。

町側からは、7年度補正予算の専決1件・議案4件（一般会計・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険）、過疎地域持続的発展山ノ内町計画の策定、志賀高原辺地に係る総合整備計画の変更、社会福祉法人の助成に関する条例制定および条例の一部改正6件、8年度各会計当初予算7件、人事案件2件（副町長・固定資産評価審査委員会委員の選任）の22議案が提案され、副町長の選任を不同意としたほかは、すべて原案どおり承認・可決・同意しました。

また議会側からは、発委3件（議会議員の報酬および費用弁償等に関する条例2件・意見書）を提出し、すべて全会一致で可決しました。

事業精算・確定による補正

一般会計補正予算（第10号）

- 歳入歳出にそれぞれ6029万円を追加し、総額を89億1919万円とするもので、採決の結果、全会一致で可決しました。
- 繰越明許費の補正では、
- 住民基本台帳法改正によるシステム改修、共同利用型コンビニ交付システム改修、物価高対応子育て応援手当、農村地域防災減災、消防車両購入の5事業で計
- 普通交付税 1億5408万円
- 理由↓再算定による増額。農林水産業費県補助金 △1791万円
- 理由↓補助申請者なし。財政調整基金繰入金 △7216万円



早朝からの除雪（南部地域）

《歳出の主なもの》

町道除雪 1億円
 減債基金元金積立金 1490万円
 岳南広域消防組合負担金 △2327万円
 新規就農者育成総合対策（経営発展支援事業） △1444万円
 農地利用効率化支援交付金 △1000万円
 移住定住推進費 △675万円
 理由↓助成金の不採択、支援事業の申請者減など。
 企画費 △774万円
 理由↓クラウドファンディングの不成立、コミュニティ助成の不採択3件など。

有利な起債となる過疎計画を可決
 過疎地域持続的発展山ノ内町計画の策定

第1次の過疎計画の計画期間が満了となることから、8～12年度を計画期間とする第2次過疎計画の策定が必要となります。
 3月5日に特別委員会を

過疎債よりも有利な辺地債の活用
 志賀高原辺地に係る総合整備計画の変更

6年度に策定した計画へ4事業を追加。有利な理由として、一般財源となります。
 2000万円が辺地債
 ○全額辺地債となるもの
 道路改良(町道旭山発喃線) 200万円
 落石防止施設設置 1200万円
 観光施設整備(志賀山縦走線・池めぐり) 4000万円
 ●施設名および事業費
 除雪車購入 3800万円
 (1260万円が辺地債)

人事案件

副町長の選任議案に対する主な質疑

湯本晴彦
 質疑 庁舎内で意見聴取や相談等されたか。
 町長 他の人事案もそうだが、久保田副町長、総務課長に相談して選任した。

湯本るり子

質疑 人事案件は「事前に各会派に伝える。最終日に提案し採決」が慣例だったよう。いきなり議会運営委員会への提案は、議会軽視では。
 町長 大変申し訳ないが、私も総務課長も存じ上げていない。説明する機会として、議会全員協議会で説明した。

小林克彦

質疑 白馬村のように公募は考えたか。
 町長 公募も考えたが、人となりを計ることは難しいため、職務代行代理者になり得る人物を探した。
 質疑 職務代理者として候補の方の町に対する熱意など、具体的な内容を。
 町長 危機管理として詐欺を防止、行政改革推進委員

改革を含め、一番町にベストであると考えた。
 質疑 副町長の年俸は、総務課長 年俸制ではないため年俸では答えられない。正確な数字を持っていないが、確か63万円(63・8万円)の12か月と期末手当の合計額となる。

小田孝志

質疑 行政経験のない方で、一番気になるのが行政経験を持つ職員をサポート体制、心構えを。
 総務課長 行政サービスを向上させていくというスタンスを持って、182人の職員と160人の非常勤職員と一緒に行政を運営していくため、全力でサポートしたい。

条例制定

社会福祉法人に対する助成を整備

条例7件は、3月4日に各常任委員会へ付託され審査。本会議で採決の結果、すべて全会一致で可決しました。
 ●社会福祉法人の助成の継続に関する条例
 今まで団体育成事業補助金交付要綱で運用。法的根拠を持たせるため、条例制定しました。
 主に運営に係る経費を対象とし、建物などハード事業は対象外。
 ●職員の旅費に関する条例の一部改正等
 国内外の物価上昇などを受け、国家公務員に関する旅費のルールとなる旅費法

固定資産評価審査委員会委員の選任

宮崎 健一
 (72歳・横堰)
 任期は8年4月1日から11年3月31日まで。

湯田中駅前温泉公園設置条例の一部改正

キッチンカーなどの利用に対し、土日祝日の利用料を新設、平日(300円/時間)の1.5倍となります。

公開します 審議議案と議員の賛否

第1回臨時会

上程議案 賛成：○ 反対：● 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意	結果	畔上 恵子	小林 仁	志鷹 慎吾	塚田 一男	湯本 るり子	徳竹 栄子	高田 佳久	渡辺 正男	湯本 晴彦	山本 光俊	小林 克彦	小田 孝志
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7年度一般会計補正予算（第7号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7年度一般会計補正予算（第8号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第2回定例会

上程議案 賛成：○ 反対：● 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意	結果	畔上 恵子	小林 仁	志鷹 慎吾	塚田 一男	湯本 るり子	徳竹 栄子	高田 佳久	渡辺 正男	湯本 晴彦	山本 光俊	小林 克彦	小田 孝志
7年度一般会計補正予算（第9号）	全賛	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
7年度一般会計補正予算（第10号）	全賛	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
7年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	全賛	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
7年度後期高齢者医療保険会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
7年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	全賛	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
過疎地域持続的発展山ノ内町計画の策定について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志賀高原辺地に係る総合整備計画の変更について	全賛	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
職員の旅費に関する条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員の旅費又は費用弁償に関する条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国際交流員任用条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
湯田中駅前温泉公園設置条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防団員等公務災害補償条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会福祉法人の助成の手続きに関する条例の制定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
給食費徴収条例の制定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8年度一般会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8年度国民健康保険特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8年度後期高齢者医療保険特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8年度介護保険特別会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8年度公共下水道事業会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8年度農業集落排水事業会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8年度水道事業会計予算	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副町長の選任について	賛少	●	●	○	○	●	○	●	欠	●	●	●	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（発委第1号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（発委第3号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化についての陳情書	賛多	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書を求める陳情書	賛少	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担をおこなわないことを求める意見書	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ズバリここが知りたい

論戦

奨学金制度のあり方は、農業施策、高齢者の健康維持・サポート支援の拡充を、上林総合案内所の環境整備など

3月3日におこなわれ、登壇議員は4人、傍聴者は3人でした。

- ▶一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告をおこないます。
- ▶質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。
- ▶反問権は議員からの質問に対し町側から議員に逆質問できる権利です。

①	 小林 仁	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金制度のあり方は ・町の施設整備は ・未来の山ノ内町のために今後の展望は
②	 塚田 一男	<ul style="list-style-type: none"> ・農業施策について ・公共施設について
③	 畔上 恵子	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康維持・サポート支援の拡充を ・防犯カメラの設置について
④	 湯本るり子	<ul style="list-style-type: none"> ・上林総合案内所の環境整備について ・楓の湯駐車場について ・高齢者の体力づくりについて ・道路行政について

退任される副町長に山ノ内町への想いを

副町長 最も重要なインフラは人、健康福祉課がその基盤を支えている



こばやし ひとし
小林 仁

奨学金制度のあり方

質問 奨学金は他制度と併用できず、利用を断念したとの声がある。制度の見直しをおこなうべきではないか。

町長 奨学金は、経済的理由により就学が困難な方への貸付制度として運用しており、現時点で見直しは検討しない。

教育長 これまで、利用者や保護者から見直しを求める声はなく、必要性はないと考えているが、社会状況の変化に応じ、見直しの必要性はあると認識しており、意見を聞きながら検討している。

いく必要がある。

質問 海外留学補助がある一方で、国内進学や通学負担への支援とのバランスは、適正と言えるのか。

教育長 海外留学補助は、国際的視野の育成を目的とした制度であり、奨学金とは趣旨が異なるため、改善は考えていないが、制度ごとに目的に応じた運用をしている。

質問 一部に集中する支援と、多くの家庭の負担との関係について、公平性などのように整理しているのか。

教育長 それぞれの制度には目的があり、その趣旨に基づいて運用している。



3年間ありがとうございました
(ご退任の久保田副町長)

スポーツ施設と 廃校活用

質問 部活動の地域移行を

踏まえ、スポーツ施設整備と廃校活用を、どうすすめるのか。

町長 人口減少を踏まえ、

既存施設の有効活用、長寿命化、集約による最適化を基本方針とし、上林グラウンドの維持と、やまびこ広場の機能向上をすすめる。

質問 廃校施設の具体的な活用はどうか。

町長 放課後の居場所や、スポーツ、学びの場としての複合的な活用を考えているが、すべての施設を活用することは難しく、選択と集中が必要であると認識している。

未来の山ノ内町

質問 少子高齢化や人手不足がすすむ中、今後の町の展望を、どのように描いているのか。

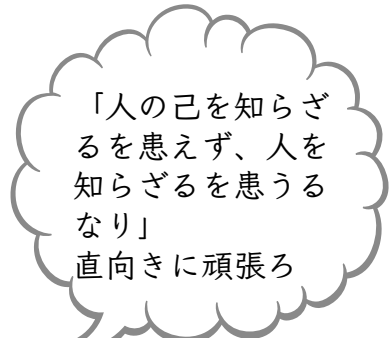
町長 最も重要なのは経済の活性化であり、観光と農

業の両輪で町を支えるとともに、子育て環境の充実を含め、多様な課題に取り組む。

副町長の言葉

質問 退任にあたり、山ノ内町の未来をどう考えるか。

副町長 今住んでいる方の満足度を高めることが、自治体として最も重要であり、その基盤となるのは人である。健康福祉課長のもと、保健師を中心に健康づくりに取り組み、地域での声かけや支え合いを積み重ねてきた結果、医療費が低く抑えられている。医療につなげる前の予防と、地域の支え合いの積み重ねこそが、町の基盤を支えている。



「人の己を知らざるを患えず、人を知らざるを患うなり」
直向きに頑張ろ

小林 仁のつぶやき

遊休荒廃農地の取り組み状況は

農林振興課長 将来の農地維持、利用に係る実態把握が必要



つかだ かずお
塚田 一男

※1 有刺鉄板：特に、冬季間の電柵解除場所に侵入防止用として設置するネット以外の金属性防護柵。
※2 ガバメントハンター：自治体が直接雇用する狩猟専門職で、有害鳥獣による農作物被害および人的被害防止対策に従事(猟友会および地域住民との連携活動を含む)。

【質問】 遊休荒廃農地は。
【農林振興課長】 令和7年度の遊休荒廃農地は、町全体で前年度比6.3ha減。
【質問】 今後の取り組みは。
【農林振興課長】 毎年の農用地利用意向調査に加え、町独自の項目を盛り込んだアンケート調査を対象者に実施予定。具体的な調査項目として、今後、何年間農業を継続可能、農地の売買、貸し出す際の条件の有無、経営断念後の農地の動向など。本調査に基づき、担い手への円滑なマッチングや農地中間管理機構との連携を早期にすすめ、遊休荒廃農地の発生防止、有効活用につなげたい。
【質問】 有害鳥獣の捕獲状況は。
【農林振興課長】 本年2月末現在、ツキノワグマ43頭、ニホンジカ66頭、イノシシ



西部地区宮農組合による遊休荒廃農地の草刈りボランティア作業

61頭、ニホンザル10頭、キツネ・ハクビシン等の小型獣53頭。
【質問】 ニホンジカによる果樹への被害防止策として、保護材に対する助成検討は。

【農林振興課長】 有効な対策として、樹木の根元から有刺鉄板の資材で対応されている方もいる。効果を検証し、補助対象資材として検討したい。
【質問】 ガバメントハンターの導入検討は。
【農林振興課長】 財政面、人的配置問題、狩猟免許取得の保持面等から、簡単には導入できない。また時間も要する。今後、管内の警察署から銃器法等による知識を深めるための研修会等を実施する方向であり、専門人材の確保の観点で研究したい。
【質問】 農業用水路における崩落等の危険箇所とその改修対応は。
【農林振興課長】 県地域防災計画の土砂崩落危険箇所位置づけられている6地区、

8水路。また、地元等からの改修計画要望があったのは南部地区2つの水路を把握している。改修対象水路の距離も関係するため、事業費の増大、地元負担金の理解もあり、水利組合等の関係者との協議継続、国県の補助事業および地方債活用し、対応したい。
【質問】 収入保険掛金に係る補助増額の検討は。
【農林振興課長】 補助率の見直しの必要性について、近隣市町村の動向、県農業共済組合からの情報収集併せて、認定農業者への加算を含めて検討したい。
【質問】 ふれあいセンターのトイレ洋式化は。
【教員長】 洋式化を基本に、利用者の要望を確認のうえ他の改修工事のスケジュール等も考慮し、すすめたい。

新緑期を迎えても、花粉症に悩む人は苦勞がつきない。私もその一人だが、今年は特に飛散量が多いと感じる

塚田一男のつぶやき

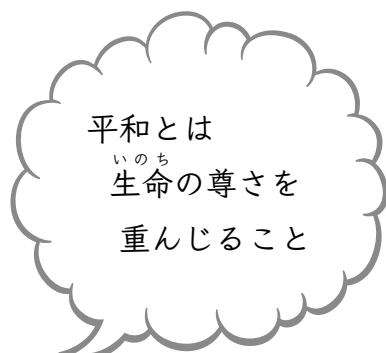
高齢者の健康維持に向けeスポーツの導入を

町長 自立した生活ができるよう取り組み



あぜがみ けいこ
畔上 恵子

※1 eスポーツ：エレクトロニック・スポーツの略。コンピュータゲームやビデオゲームを使って対戦する競技。
※2 フレイル：健康な状態と要介護状態の中間段階の状態であり、能力低下により身体機能障害に陥りやすい状態のこと。



平和とは
いのち
生命の尊さを
重んじること

畔上恵子のつぶやき

【質問】健康づくりに向けた取り組みは。

【健康福祉課長】^{※2}フレイル状態、認知症を予防する事業を展開している。また、閉じこもりと地域で活動できることを目的としたチャレンジシニアでも10教室開校している。

【質問】運動や交流の場へ参加できない高齢者の支援は。

【健康福祉課長】通所介護の他、65歳以上を対象としたハッピー体操、生きがいカフェ、はつらつ元気クラブを実施し、希望者には送迎支援をおこなっている。

【質問】独居高齢者・高齢世帯への見守り体制は。

【健康福祉課長】包括支援センターの看護師が訪問し、健康状態の確認など実態把握事業、緊急通報装置の貸与や配食サービスによる安否確認を実施している。

【質問】今後の課題は。

【健康福祉課長】75歳以上の後期高齢者の増加により対象者が増えている。民生児童委員、社会福祉協議会、介護サービス事業者、医療機関等との連携を深めていく。

交流事業の二環としてeスポーツ導入の考えは

生涯学習課長

8年1月



ウェルネスウィークシニアeスポーツ

eスポーツを体験してもらうことを含めウェルネスウ

ィークというなかで、ゲーム感覚でスポーツを楽しむ

教室を開催した。参加者は今回は、小中学生のイベントも含め体験としておこなった。

【質問】身体機能、認知機能の維持に必要と考えるが。

【生涯学習課長】高齢者への予防に関しては健康福祉課とともに考えていく。

安心・安全の町に向け防犯カメラの設置を

【質問】公共施設である、ふれあいセンター・美術館・保育園、また12年に開校する義務教育学校等への設置の考えは。

【町長】プライバシー保護の観点から、設置をする場合は慎重にすすめる必要がある

る。今後新しい学校については、今検討している委員会などで協議しながら、どんな形が防犯対策になるのか、またトータル的に安心・安全な学校づくりにどう入ってくるかは、今私の方では答えられない。
公共施設に関しても、本当にニーズがあるのか、プライバシーはどう守るのか記録されたデータの取り扱いなど非常に難しい。その辺も含め研究しつつ、必要な場所には適切に設置をしていくことが望ましいと考える。

上林総合案内所ができて一年 改善要望多いが

町長 構造上の問題もあり可能な範囲で改善

質問 上林総合案内所の使用実態は。

町長 入り口のカウンターでの計測では、冬期間月約3万人の利用があった。

質問 営業時間と職員数は。

経済振興課長 午前9時半から午後4時半まで、通年で1人、12月から2月は2人体制。

質問 雨や雪の日の対策として、入り口やスロープに屋根がほしいとの要望だが。

町長 構造上の問題もあり難しいが、優先順位を考慮しながら、可能な範囲で改善検討。

質問 建物とロッカー整備の費用は。

経済振興課長 建物は施工監理と工事費合計で4921万円。ロッカーは本体と周りを囲むプレハブと合わせて400万円。

質問 事務所が閉まると使えるトイレがなくて困る。仮設でもいいから作ってほしい。

町長 町には特段そういつた声はない。

反問 町長 夜間のトイレ

利用ということか。仮設でもというが顧客満足度の低さもきめてどうか。

回答 事務所が閉まっただらバスの最終便までは、利用できるトイレが必要という声が強かった。



上林総合案内所

「ここは駐車場でありません」の看板の経緯は

質問 楓の湯南側の駐車場が閉鎖されたが。

町長 観光客が利用する食堂が少ない。夕食難民解消を目的に、キッチンカーの出店スペースとした。

質問 1月頃に、いきなり「ここは駐車場ではありません」、障がい者用駐車場もなくなり、地元への配慮が足りないと思うが。

経済振興課長 冬場は観光客が多いので、湯田中駅周辺の活性化と、賑わいの創出を重点においた。身体障がい者用駐車場は北側に移動した。

高齢者の
体力づくりは

質問 保健センターやふれ

あいセンターに、町民が利用できる健康器具を設置する予定はないか。

町長 機器の正しい使用方法や、見守りが欠かせず、現時点では設置は難しい。

道路行政は

質問 都市計画の見直しは。

建設水道課長 県との調整、現状把握など、着手を始めた段階。

質問 小学校統合に先行し、穂波温泉・佐野の小学生の通学路は改良が必要では。

建設水道課長 統合の中で改良の話は出ていない。

質問 アスファルト舗装の損傷がかなり目立つが。

建設水道課長 予算の範囲でやっているが、補正等を使いながらやる。

「アルテミス計画」はアポロ計画から53年ぶり。乗組員は多様性を重視、世界中仲良くしていきたいね

湯本るり子のつぶやき

ふるさと寄附金(納税)7億円を計上

一般会計予算86億8200万円を全会一致で可決

前年度比2億4000万円増

予算審査は、3月4日に予算決算審査委員会(委員長 小田孝志、副委員長 徳竹栄子)に付託され、6日から13日の6日間にわたり実施しました。

委員会での採決結果は、一般会計、3特別会計(国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険)、3企業会計(公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業)は、全会一致で可決すべきものと決定。本会議でも7議案ともに全会一致で可決しました。なお委員会・本会議における討論はありませんでした。

部会意見

一般会計

《共通》

○地域おこし協力隊の雇用は、業務内容および受け入れ環境に十分な配慮をすること。

○ワークマネジメントツ

ールなどを活用し、適正な業務効率化と住民サービスの向上をはかること。

《議会費》

○DX推進事業(タブレット・動画配信)を促進すること。

《総務費》

○楽ちんバス・チョイソコやまのうちの運用については、利用者の利便性に配慮すること。

○地域公共交通は、ライドシェアを含めた新たなシステムの運用を検討すること。

《危機管理費》

○防犯カメラの設置にあたっては、利用方法の周知をはかり設置の推進につとめること。

○全町での地域防災計画策定に向け、積極的な支援に取り組むこと。

《民生費》

○こども・子育て関連業務におけるキャッシュレス決済の運用を検討すること。

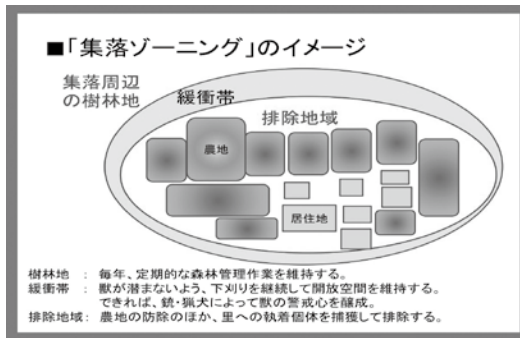
《衛生費》

○交流人口拡大を踏まえ

た環境衛生対策をはかること。

《農林水産業費》

○鳥獣被害解消にむけゾーニング計画(主要生息・排除・緩衝)を策定し、区分ごとに対策を講じること。



出典：環境省HP

《商工費》

○まちづくり観光局は、DMOの早期取得を目指し経済振興をはかること。

《土木費》

○安全上および景観の観点から、道路修繕は計画性をもって迅速に対応すること。

《消防費》

○ドローン活用には万全を期すこと。

《教育費》

○こども海外留学などの体験に対する支援について、新たな制度設計をはかること。

○通学定期券購入補助金の対象者および補助率の拡充をはかること。

○学校統合は、こどもたちの教育環境がより良いものとなるようつとめること。

○部活動の地域移行は状況の把握につとめ、広域連携を視野に入れて検討すること。

○総合型地域スポーツクラブの組織運営に万全を期し、拠点となる体育施設の検討をおこなうこと。

○上林総合グラウンド利活用は、整備計画を策定し推進していくこと。

特別会計

《国民健康保険》

○データヘルス計画の間見直しにおいては、被

保険者のニーズを把握し、分析の結果を踏まえて優先順位や課題を明らかにし、保健事業に取り組むこと。

《介護保険》

○フレイル予防の取り組みを充実させ、健康寿命の延伸につながるようつとめること。

○認知症の人が地域で安心して暮らせる社会の実現に向け、早期発見・早期対応や相談支援体制の強化をはかること。

企業会計

《公共下水道事業》

○ストックマネジメントに基づき施設の改修をおこなうこと。

○収納率の向上には万全を期すこと。

《水道事業》

○アセットマネジメントに基づき漏水・濁水対策をはかり、安定した水の供給につとめること。

○収納率の向上には万全を期すこと。

総括意見

日本経済は、緩やかな回復基調がみられる一方で、国際情勢のさらなる不安定化により、物価上昇やエネルギー価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いている。加えて、人口減少や少子高齢化の進行は、地方自治体の財政運営や地域社会の持続可能性に大きな影響を及ぼしている。限られた財源のもとで効果的かつ効果的な行政運営をはかるとともに、住民福祉の向上と地域の活力維持に向けた施策を着実に推進していくことが強く求められている。

このような状況下で編成された令和8年度一般会計予算の総額は86億8200万円、前年度予算に比べ2億4000万円(2.8%)の増となり、当初予算としては過去10年間で最大となっている。

(1) 歳入について

歳入の柱である町税収入(歳入に占める構成比19.9%)は、前年度比3396万円(2.0%)増の17億2888万円となっている。税収確保と税の公平性維持の観点からも、収納業務には最大限の努力を払わたい。歳入のもう一つの柱である地方交付税(構成比32.9%)は、前年度比3700万円(1.3%)増の28億5700万円を見込んでいる。ふるさと寄附金は、前年

度比1億5000万円増の7億円を計上。繰入金(構成比12.1%)は、前年度比5331万円(5.4%)増の10億4758万円を財源補填として計上。うち財政調整基金は6億5056万円、ふるさと基金は2億8461万円の基金取崩しを見込んでいる。町債(構成比7.7%)は、前年度比1億460万円(18.4%)増の6億7250万円を計上している。

(2) 歳出について

主な事業全体では、21項目の新規事業と7項目の拡充事業が計上されている。

産業分野では6項目の新規事業と2項目の拡充事業を計上し、基幹産業の一つ、観光に係る商工費では、町観光事業の軸となる山ノ内まちづくり観光局への活動支援補助金および事業負担金とともに、山ノ内インフォメーションセンターや上林総合案内所の観光案内施設の運営業務に係る委託費を計上。志賀高原総合会館98改修事業や未利用施設を活用した観光誘客施設整備補助金を新規計上している。知名度向上や誘客促進をはかり、賑わいのある魅力的な観光地となるよう期待したい。もう一方の基幹産業である農業に係る農林水産業費では、産地パワーアップ事業、がんばる農業就農奨励金、農業経営雇用促進事業、収入保険掛金補助事業のほか、スマート農業機械導入支



総括・部会意見を協議する全体会議の様子

援事業や畦畔用防草対策導入補助金を継続計上。農業経営の安定や省力化、農業従事者の高齢化にもなう施策の一助になることを期待する。

健康・医療・福祉分野では、コミュニケーション能力の向上や生活支援のため、軽度・中程度難聴者補聴器購入補助金が新規計上された。保育所費として保護者の就労等の要件に関係なく、月一定時間保育園に通園することができるとも誰でも「通園制度」に係る経費や、県外から移住し町の保育士として勤務する場合は移住費用を支援するため、保育士移住支援事業を新たに計上。なり手不足解消や移住・定住策の一助となることを期待したい。

教育・文化分野では、新規7事業、拡充2事業が計上された。令和12年度に開校を目指す新たな学校づくりに向け、統合学校整備設計業務を新規計上したほか、学校づくり準備委員会、シノポジウム開催等の経費を計上。魅力ある学校づくりに向けた議論に期待したい。また、教育支援センター運営経費や、高校生通学定期券購入補助金、英語教育強化事業を引き続き計上している。3年目に入る海外留学支援事業は、児童・生徒が海外の文化・スポーツなど見聞を広める海外留学への補助金であるが、多くのこともたちの挑戦を支援するために、海外留学支援事業とは別に、新たな制度設計をはかり、門戸を広げることが切望する。学習環境の向上やゼロカーボンシティの推進を踏まえ、西小学校・中学校のLED照明への更新工事を新規計上。学校給食費では、小学校は国の給食費負担軽減交付金を充当し無償化となる。中学校は、ふるさと基金活用により引き続き半額補助とし、子育て世帯に対する経済的支援をはかっている。

防犯対策として、自治会による防犯力メー設置に係る補助を新規計上。安心安全なまちづくりの推進に期待したい。移住・定住施策として、アパート建設工事に係る費用の一部を補助する。定住環境整備促進事業を新規計上。町内の賃貸住宅は依然として慢性的に不足しており、引き続き官民連携で賃貸住宅事業の構築を期待したい。

(3) まとめ

令和8年度予算は、当町が直面する人口減少対策、地域経済の活性化、観光・農業振興、子育て支援、さらには安全・安心なまちづくりなど、様々な課題に対応するための重要な予算である。本委員会においては、こうした視点を踏まえ、各事業の必要性や効果、財政の健全性などについて慎重かつ丁寧に審査をおこなった。

第6次町総合計画後期基本計画(令和8〜12年度)の初年度にあたり、町の将来像「未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な郷土(まち)」の実現に向け、着実に事業を推進していくことが求められている。執行機関においては、本委員会が出された意見や要望を十分に踏まえ、予算の適正かつ効果的な執行につとめるとともに、引き続き健全で持続可能な財政運営と町民福祉の向上に一層取り組まれることを期待し、予算決算審査委員会の総括意見とする。

町行政とまちづくり観光局との業務分掌ならびに、それに伴う費用を明確化すること

6年度から本格始動したまちづくり観光局は、旧観光商工課の観光部門の業務を引継ぐほか、道の駅や楓の湯の収益事業もおこなっています。

町からの費用は、8年度会計に向けて再整理し、町行政が本来おこなうべき直接収益を生まない、住民や観光客のための事業に対しては負担金、観光局が収益を得て自走できるようにするための事業に対しては補助金、また委託事業は委託料として事業項目を整理し、明確化につとめています。



まちづくり観光局のFB

地域計画に基づき、遊休荒廃農地解消に向け取り組むこと

町の10年後の農地利用の姿を明確化する目的で7年3月末に策定した「山ノ内町地域計画」について、住民・農業者の皆さんとの話し合いにより、実現に向けてブラッシュアップに取り組んでいます。

また遊休農地所有者を対象に実施している農用地利用意向調査の結果に基づき、所有者に対して適正な農用地管理や遊休農地復活事業等の推進に取り組めます。



西部地区 目標地図

こども・子育て関連業務におけるキャッシュレス決済の運用を検討すること

現在、現金にて利用料を納付いただいている事業として一時的保育があります。また8年度からこども誰でも通園制度が開始されますが、不定期な利用であることから利用された日毎に現金にて納付いただく予定です。

キャッシュレス決済により保護者の時間や手間の負担軽減をはかることができるとともに、窓口収納事務の削減も期待できることから、8年度より一部の園での試験的導入に向け、検討をしています。



後期基本計画 まちづくりの基本目標

給食費の公会計化および無償化の検討をおこなうこと

現在、公会計化は条例等の整備をすすめています。また無償化は、国による「給食費負担軽減交付金」を活用し、8年4月から小学校給食費の無償化をおこない、中学校は半額補助を予定しています。

中学校の給食費無償化は、国において引き続きの議論がおこなわれるとのことから、県および近隣市町村の動向にも注視しながら、町と協議をすすめ総合的に判断していきます。



学校給食センターの視察

ここが疑問

予算決算審査委員会

8年度予算審査での主な質疑・答弁は以下のとおりです。

ふるさと納税

問 控除額(他市町村への流出)は、327人、1958万円。

マイナンバーカード

問 郵便局受託事業の内容。
答 8年3月に開始。全額国補助で電子証明書の更新および暗証番号の初期化。

住民主体型サービス補助金

問 事業内容と団体数は。
答 訪問型サービスB(通所・訪問)や訪問型サービスD(通院や日常の買物の付き添い)を実施する団体に補助、2団体分を計上。

保育士移住支援事業

問 事業内容は。
答 県外から保育士資格を持つ方に移住してもらう県の事業。

統合学校整備設計業務

問 タイムスケジュールは。
答 5月11日に審査会、13日に結果発表、18日までに仮契約、基本実施設計業務契約は、6月議会にて議案提出。

英語教育強化事業

問 具体的な内容は。
答 信州大学によるA1を活用した英語教育。

文化センター大規模改修

問 改修内容は。
答 主な改修は、受変電設備・ビル用マルチエアコン・非常用発電機など。

佐野遺跡保存活用計画

問 策定状況と整備計画は。
答 8年度は整備計画を策定する準備期間とする。

上林総合グラウンド

問 借地の解消は。
答 公共施設は借地としない方針。3年毎の料金改定で地権者と相談したい。

環境サミット運営委託

問 事業内容は。
答 テーマを「雪とスキー」とし、近隣市町村との連携をはかる。5月までに400万円以上の寄附を集め、11月ごろまでに開催するかを判断する。

県営畑地帯総合土地改良事業負担金

問 改良事業の内容は。
答 夜間瀬かんぱい施設の改良工事。14年度までの7年間で総額11億円となる。主な改良は、スプリンクラー自動制御装置、電動弁、小水力発電機設備の更新、剣沢ダム側壁改修など。

志賀高原総合会館98改修

問 改修内容は。
答 高圧受変電設備(キュービクル)の更新やテラス床の張替えなど。工事は6月から開始予定で、施設の安全性と利便性の向上をはかる。

消防団ドローン購入

問 具体的な活用方法は。
答 災害時の捜索や状況確認などに活用するため、ドローン2機(訓練用・実用)を導入する。あわせて隊員2人が専門教育を受け、将来的には鳥獣対策など幅広い分野での活用も期待。

防犯カメラ設置補助

問 映像データ管理など安全性の確保は。
答 自治会が設置する防犯カメラに対する補助制度。設置は公共的な場所に限られ、映像の取り扱いも厳格に管理される(警察以外へのデータ提供は不可)。費用は、町・地元で1/3ずつ分担となる。

第19回議会報告会

5会場に146人が参加

第19回議会報告会は、1月18日のすがかわふれあいセンター(北部会場)を皮切りに、1月31日のよませふれあいセンター(西部会場)まで全5会場で開催しました。

各会場での懇談会では、グループでの意見交換がおこなわれ、町に対する住民の皆様の思いや地元の要望など、大変活発な議論とたくさんのご意見やご質問をいただきました。今回お寄せいただいたお声は所管課へ伝えるとともに、今後の議会・議員活動にしっかりと活かしてまいります。

なお、今回出されたご意見・ご要望のまとめに関しましては、結果報告書としてホームページ等にも掲載しました。

ご協力いただいた各地区の役員の皆様ならびにご出席賜りました参加者の皆様に心から厚く御礼申し上げます。



東部上会場の様子

開催日	1月18日(日)	1月24日(土)	1月26日(月)	1月30日(金)	1月31日(土)
地区	北部	南部	東部上	東部下	西部
参加者	17人	38人	30人	27人	34人

第19回
議会報告会
結果報告



皆さんからの陳情

番号	件名	陳情者	採決結果
陳情 第1号	業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化についての陳情書	長野市中御所字岡田 124 番地 1 一般財団法人 長野県建築士事務所協会 会長 伊藤 公績 中野市大字壁田 955 一般財団法人 長野県建築士事務所協会 中高支部長 蟻川 幸治	採択 (賛成多数)
陳情 第2号	mRNAワクチン(レプリコンワクチン含む)接種事業中止の意見書を求める陳情書	千葉県 宇井 淳	不採択 (賛成少数)
陳情 第4号	消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情	長野市県町 593 長野県高校教育会館 3階 長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢 裕夫 佐野 達夫 細尾 俊彦 小林 吟子 松丸 道男 北沢 忠	採択 (全会一致)

議会からの発委

番号	件名	提出者	採決結果
発委 第1号	山ノ内町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	議会運営委員会	可決 (全会一致)
発委 第2号	消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担をおこなわないことを求める意見書	社会文教常任委員会	可決 (全会一致)
発委 第3号	山ノ内町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	議会運営委員会	可決 (全会一致)

議会全員協議会

第1回(8年1月14日)

議会側提出案件

- (1) 第19回議会報告会について(資料)

第2回(1月20日)

執行機関側提出案件

- (1) 総合経済対策に伴う補正予算
 - ①重点支援地方交付金事業
 - ②物価高対応子育て応援手当
- (2) 長電バス「菅線」の廃止

第3回(2月6日)

議会側提出案件

- (1) 町への質問書

第4回(2月26日)

執行機関側提出案件

- (1) まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3期)
- (2) 国民健康保険税の改定
- (3) 観光局事業・予算執行状況
- (4) 学校給食費の公会計化
- (5) 副町長の選任

議会側提出案件

- (1) 議会報告会結果報告

第5回(3月4日)

議会側提出案件

- (1) 町長からの意見書
- (2) 議会報告会まとめ

第6回(3月13日)

議会側提出案件

- (1) 町長からの意見及び要望書
- (2) 公開質問状

第7回(3月23日)

執行機関側提出案件

- (1) 財務書類(令和6年度決算)
- (2) 新型インフルエンザ等対策行動計画
- (3) 観光交流ビジョン(第4次)
- (4) 耐震改修促進計画(第4期)
- (5) 統合学校整備基本計画
- (6) 史跡佐野遺跡保存活用計画
- (7) 人権に関する総合計画(改定)(第3次)
- (8) 男女共同参画プラン21(第6次)

議会側提出案件

- (1) 町長からの意見・要望・質問書への回答
- (2) 町民からの公開質問状
- (3) 議員からの抗議及び調査申入書

第8回(3月24日)

議会側提出案件

- (1) 町長からの意見・要望・質問書への回答
- (2) 町民からの公開質問状
- (3) 議員からの抗議及び調査申入書

雪をつくる・守る・支える

〜横手山・渋峠スキー場の現場から〜

シーズンの始まりをどこよりも早く届ける横手山・渋峠スキー場。今シーズンの志賀高原（全18スキー場）の12月来場者数は約26万人と、前年同月比約12%増となり、インバウンド需要の拡大などを背景に、好調なスタートを切りました。その賑わいの裏側では、限られた気象条件を見極めた雪づくりと、現場の判断、見えない技術によってゲレンデが支えられています。今回は、その「リアル」を現場の皆さんに伺いました。

深夜2時、気温との戦い

雪づくりで最も重要なのは「気温」と「湿度」です。人工降雪は、

気温が低く湿度が適した状態であれば、効率よく雪をつくることができます。そのためスタッフは天気予報を細かく確認し、条件が整う瞬間を待ち続けます。深夜2時、3時といった時間帯でも現場に立ち、気温が下がるわずかなタイミングを逃さず作業を開始します。近年は暖冬の影響で雪をつくる時間が限られ、「作業する

下がるかどうか微妙な夜、作業を開始するか見送るか…その選択が雪の上がりやオープン時期に直結します。現場では常に、その一判断の重みと向き合っています。

見えない場所で支えるゲレンデ

営業終了後のゲレンデでは、圧雪車による整備がおこなわれます。コース全体の凹凸をなくし、滑りやすい状態をつくと同時に、安全性にも細心の注意が払われています。例えば、コース外への転落を防ぐため、外側がわずかに高くなるよう整形するなど、見た目では分からない工夫が施されています。さらに安全ネットやマットの点検・補修も毎日欠かさずおこなわれ、こうした積み重ねが事故のない環境を支えています。

春まで滑れる理由 雪を守る仕事

横手山・渋峠エリアは、春スキーまで楽しめることも大きな魅力です。このためシーズン初めから雪の「厚み」を意識した雪づくりがおこなわれます。また、雪が減り少しやすす場所には他から雪を運ぶ「雪出し」をおこない、コースの維持につとめています。圧雪によって雪を締めることや、雪面のごみを取り除く作業も、雪を長持ちさせるための重要な工程です。

スキー場を支える「影の仕事」

リフト、圧雪車、降雪機の整備は、スキー場の「命綱」です。始動前点検はもとより、消耗部品の



山頂からの景色

交換や細部の調整まで、日々徹底した技術管理がおこなわれています。圧雪車も作業後には雪落としや点検を実施しています。こうした目に見えない作業が、安全で快適なゲレンデを支えています。

現場の思い

「お客様が安全に滑り、笑顔で帰っていただくことが何より大切です」。目立たない作業の一つひとつが、一日を支えています。何事もなく過ごせる一日こそ、現場の成果です。

町民の皆さまへ

横手山・渋峠は、冬のスキーだけでなく、夏のトレッキングやリフトからの景色も楽しめる場所です。ぜひ一度、山頂からの景色を体感してください。そこには四季の魅力が満載です。

町民からの意見

「平澤町長のPCG社特別顧問に就任している件」について、町民より投書をいただきました。本件は議会での判断・認識、調査・対応の協議、説明を求められました。

町政への影響も含めて総合的に精査し、あわせて、まちづくり観光局やスポーツクラブなど、町が関与する団体の理事長兼務についても精査する必要性があり、町長へ質問書を提出しました。過日、町長から回答を受けましたので、報告いたします。

議会
ホームページ
QRコード



編集後記

新年度も、町の動きや現場の声を分かりやすくお伝えできるようつとめてまいります。引き続きご意見・ご感想をお寄せください。（志鷹慎吾）